

令和7年度事業計画

南界園

1. 重点課題に対する取り組みについて

(1) 職員の確保と生産性の向上

ア. 外部環境

国内人口減少・少子高齢化が益々加速する状況の中、高齢者福祉分野におきましては慢性的な人材不足に加え、新型コロナウイルス感染症などの影響による経営悪化は深刻となっています。

更に種子島では自衛隊馬毛島基地建設が急ピッチで進む中、農業など他産業においても島内賃金格差による人材不足はもとより交通量の増加・建設資材の高騰など顕著に見受けられ、島内の高齢者施設の規模縮小・廃業など高齢者を取り巻く需要と供給のバランスは大きく崩壊しています。

このように前例のない非常に厳しい状況ではありますが効率的な事業を継続するため、外国人技能実習生の計画的な雇用など介護職等の人材不足の解消を図り、また ICT の積極的な導入、科学的介護情報システム（LIFE）等を活用した生産性の向上に努めます。

イ. 重点的な取組

- (ア) 職員募集対策の強化（外国人技能実習生の雇用をはじめ魅力的な職場づくりの推進）
- (イ) 働きやすい職場環境の創出（業務見直し・働き方改革）
- (ウ) 職種間の賃金格差の調整（キャリアアップへの道筋の確立）
- (エ) 職員のスキルアップとそれに応じた処遇の整備
- (オ) LIFE の活用をはじめとした ICT 導入の推進による生産性の向上

(2) 感染症対策の強化と地域共生社会の推進

ア. 外部環境

高齢者施設においては新型コロナウイルスをはじめとする感染症予防対策の強化が求められています。感染症・災害発生時の業務継続計画の策定、見直しを順次進め、看取りの実施や医療・介護の連携推進と水際対策の強化を継続します。

地域共生社会の推進等においては、人生における様々な困難に直面した場合でも、誰もが役割を持ち、お互いが配慮し存在を認め合い、そして時に支え合うことで、孤立せずその人らしい生活を送ることができるようなコミュニティの構築が求められています。

イ. 重点的な取組

- (ア) 看護師確保による感染症予防対策強化とご利用者個々の健康管理体制の充実
- (イ) 南界小学校・油久小学校をはじめとした地域との交流の継続と充実

2. 各事業所の取組

(1) 特別養護老人ホーム

長期入所においては生活相談部（生活相談員・介護支援専門員）の体制を充実させ、稼働率の確保に向けた取り組みを継続します。

ご利用者の健康管理においては、健康で安心して生活ができるよう感染症対策等を徹底し、健康維持の機能訓練を充実させ、日常生活機能の維持に努めるため上位条件の看護体制加算取得を目指し看護職員の採用を進めていきます。同時に介護支援専門員・看護職員に加え、栄養士・介護職員等の採用を

検討し総合的な介護支援体制のさらなる充実も図ります。

また科学的介護情報システム（LIFE）等の活用、新たな ICT の積極的な導入を図ることにより生産性向上を高めた加算取得も目指します。

日々の生活に生きがいをもって送れるよう尊厳を持った介護・援助に努め、地域に信頼される施設として感染症対策を図りながら園内行事等に家族会や地域の皆様の参加を検討し、ボランティアや実習生の受入など地域との交流を図り貢献に努めます。

また、ご利用者の居心地よい生活を確保するため施設の整備を進め「安心して生活できる場」、「元氣を取り戻すことができる場」を目指します。

(2) 通所介護センター

通所介護センター利用者のサービス提供にあたっては安心して楽しく利用していただけるよう生活上の助言・援助・入浴・健康チェック・感染症予防対策等を実施し、ご利用者に寄り添いながら温かい雰囲気づくりを目指したサービス提供に努めます。また、季節に合わせた野外活動やレクリエーション等を実施しご利用者の皆様が生きがいを持って生活できるよう支援します。

更に、要支援状態等の利用者に可能な限り自宅での自立した日常生活を営むことができるよう生活機能改善のための運動器の向上や栄養改善などの包括的な支援を実施します。また科学的介護情報システム（LIFE）等の活用、新たな ICT の積極的な導入、健康維持や QOL 向上に向けた取り組みやご利用者が個人の尊厳を保持し、地域社会において自立した生活を営む事ができるようご利用者の自立基盤拡充を図りながら「行ってみたい通所介護センター」の確立を目指します。

(3) 訪問介護センター

生活援助のサービス提供に当たっては新型コロナウイルスをはじめとする感染症の予防対策を図るとともに、ご利用者をご自分で出来るかどうかを見極め自立に向けた支援に努めます。

身体介護のサービス提供については心身の状態を観察し各関係機関との連携をとりながら在宅での生活が安全に送れるよう支援します。また、現在実施している日常生活支援総合事業にも引続き対応し訪問介護職員のスキルアップを目指します。

更に職員の高齢化も勘案し、将来的な事業継続に向けて職員採用・配置及び教育等を進めます。

(4) 居宅介護支援センター

ご利用者の自立支援をもとに住み慣れた自宅や地域で少しでも長く生きがいを持った自分らしい生活が続けられるよう、地域包括支援センター、医療機関、サービス事業所等との連携を深めサービスの充実を図り、質の高いケアマネジメントの提供を行っていきます。また、新型コロナウイルスなどの感染症に対応し、安心して自宅で生活できるようサービスの調整を行っていきます。

なお職員の高齢化も勘案し、将来的な事業継続に向け職員の増による適正な配置及び教育等の検討を進め、より充実したケアマネジメント体制の確立を目指します。

(5) 共通

算定可能な加算の管理等、確実に算定できるよう努め保険者や関係機関との連携を図りながら確実な請求業務に努めます。

ご利用者・ご家族をはじめ地域の皆様に親しまれ、喜ばれ、信頼されるサービスの提供を目指し、ホームページの内容の充実、SNS 等を活用した情報発信を行い、1 人でも多くの南界園・慈愛会ファンを増やすため各事業のサービス内容をより充実させます。

また園内のキャリアアップ支援体制を構築し、人事考課制度やストレスチェックの積極的な活用により職員が自身の将来に希望を持ち成長しながら安心して長く働き続けられる職場環境の構築を目指します。

3. 年間行事計画及び研修計画

区 分	内 容
共通行事	・開園記念行事 ・秋祭り ・敬老会 ・防災訓練 ・職員奉仕作業
特 養	・屋外レクリエーション（遠足等／年1回） ・南界小運動会参加 ・クリスマス会 ・入居者忘年会
デイ サービス	・誕生会（4半期毎） ・屋外レクリエーション（遠足、紫陽花ロード見学等） ・小学校とのふれあい活動 ・七夕 ・もちつき大会 ・初詣
職員研修	・老人福祉施設協議会総会（県、地区） ・新任職員研修会（県） ・職種別研修会 ・県老人福祉施設協議会（施設長会） ・介護技術研修会（県） ・喀痰吸引研修会 ・介護支援専門員連絡協議会 ・給食施設連絡協議会 ・事業所別オンデマンド研修会（随時）
定例会議	・運営委員会 ・給食委員会 ・サービス担当者会 ・安全対策委員会 ・感染症対策委員会 ・身体拘束廃止委員会 ・入所検討委員会 ・教育研修委員会 ・生産性向上推進委員会

4. 施設管理

(1) 設備、備品等を定期的に点検し、適切な維持と管理の実施及び花木の適切な管理

(2) 災害対策

- ・防災訓練の徹底（夜間・昼間）年3回（消防署訓練依頼1回）、消防設備の点検委託 年2回（届出1回）、電気設備点検（毎月）、消防設備の自主点検の実施（毎月）、地震、台風対策の徹底
- ・地域支援態勢の確保（地域住民との連携）

(3) 修繕、改修、購入、工事

- ・特養：
 - ・外国人技能実習生宿舍建設（8戸）及び生活家電等購入
 - 居室空調設備・居室ベッド更新
 - 老朽化対策と施設更新の検討（補助金の活用）
 - 見守り機器の整備（補助金等の活用）
- ・通所介護センター：防災カーテン更新 送迎車購入
- ・全体：PAS及び高圧ケーブル更新

5. 地域社会との連携

- ・地域の保健・医療・福祉サービス事業所との連携
- ・小・中学校とのふれあい事業の推進

- ・小・中・高生ボランティアや体験学習の受入
- ・資格、免許取得実習の受入
- ・教職員介護等体験の受入
- ・園周辺の国道・町道の清掃ボランティア

6. 相談、苦情解決

・ご利用者、ご家族の相談・苦情及び要望のご意見等を施設職員としてしっかり受け止め、問題解決、再発防止、改善、解決に向けて取り組みます。また気軽に相談できる環境を作り、誠意をもって対応しサービスの質の向上に努めます。

7. 中長期計画（2025（令和7）年度）

- ・2025（令和7）年度は外国人技能実習生の雇用を主体に中長期計画においても下記の事業を実施します。

重点戦略戦略テーマ	具体的な施策対応	施行実行スケジュール
外国人技能実習生の計画的な雇用	(1) ミャンマー日本語学校出身生徒の雇用（3名／年間）	目標設定実施 2025（令和7年）～ 新規
総合型予防事業への対応	(1) 総合型予防事業の対象者確認 (2) アセスメントプラン作成 (3) 認知症対策：回想法の確立	目標設定実施 2019（令和1年）～ 継続
特養入所要件の見直しに伴う重度者に対する医療・看護体制の充実	(1) 口腔ケアの充実 (2) 嘱託医及び協力医への連携確保 (3) 看護職員の増員による体制強化	見直し 2019（令和1年）～ 継続
施設老朽化に伴う改修等	(1) 計画の具体化（補助金の活用） (2) 見守り機器等整備（補助金の活用）	2024（令和6）年度～ 継続

中長期計画に伴う 2025（令和7）年度事業計画

事業名	事業費	備考
特養居室空調設備更新	1,700,000	特養
通所介護送迎車購入	3,000,000	通所介護センター
PAS 及び高圧ケーブル更新	946,000	特養
外国人技能実習生宿舍	82,250,000	木造8戸

8. 職員管理

(1) 職員体制

(2025 年 4 月 1 日見込)

事業所名	特 養		通所介護（デイ）		訪問介護		居宅介護支援		合計
職種区分	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	
施 設 長	2		(2)		(2)				2 (2)
事 務 員	4	2	(2)		(2)		(2)		6 (6)
相 談 員	2		1 (2)						3 (2)
介護支援専門員	2						1		3
看 護 職 員	3	1	1	1					6
介 護 職 員	21	3	4	1	1	6			35
機能訓練指導員	(1)		(1)						(2)
栄 養 士	1		(1)						1 (1)
調 理 員	4	3							7
介 助 員	2								2
そ の 他		6							6
合 計	41 (1)	16	6 (8)	2	1 (4)	4	1 (2)		73 (15)

(2) 職員採用計画

- ・事務職（管理職） 1 名
- ・介護支援専門員 2 名（居宅 2 名）
- ・看護職員 3 名
- ・介護職員 6 名（外国人技能実習生含む）
- ・（管理）栄養士 1 名
- ・調理員 3 名
- ・ヘルパー 1 名

(3) 職員処遇

- ・服務規律と社会的責任の確立
- ・資質向上のための研修・資格取得の推進、サポート体制の構築
- ・医療ケア連携による各職員のスキルアップ研修
- ・健康管理及び交通安全・火災予防の徹底
- ・健康診断 一般職員（年 1 回）・直接処遇職員（年 2 回）・腰痛検査（年 2 回）
- ・インフルエンザ等予防接種補助
- ・有給休暇取得率の向上（令和 6 年実績 61.2% 1/24 現在）

参考：介護職全国平均取得率 58%

過去 2 年間の南界園全職種の平均取得率：83.8%